

「第2期潮来市学校適正化計画」についての各地区説明会（日の出中学校区） 会議録

○日 時 : 令和6年6月4日（火）19:00～20:10

○場 所 : 中央公民館1階 大ホール

○出席者 : 21名

○議事録

1. 開会

2. あいさつ: 教育長

3. 説明

「第2期潮来市学校適正化計画[概要版]」

- 計画の背景と目的
- 潮来市の小・中学校の状況と推計
- 小・中学校の規模及び配置に関する基準
- 小・中学校適正化の方向性の見直し
- 小・中学校の適正化方策
- 年次計画

4. 質疑応答 ※（ ）は事務局の考えを示したものです。

事務局: 本計画についてご質問等ある方は挙手をしていただいた上で、氏名、所属等を言って質問してください。

A 氏: 令和11年の一校化は決定事項ですか。

事務局: 令和11年の統合を目指して、準備を進めて参ります。

B 氏: 校地の予定は決まっていますか。

事務局: 校地は、潮来一中、潮来二中、日の出中のいずれかですが、今後、検討委員会で様々な項目について協議を図って参ります。

A 氏: 子育て世代の定住条件の一つは、近くに学校があることです。そのような点で、日の出はとても良い場所です。統合により、日の出中以外に校地が移ると、通学条件が悪くなります。国道51号線を横断したり、並走したりする場合はかなりの危険を伴います。以前には、通学中に生徒が事故に巻き込まれ、足を切断した事例もあります。校地選定にあたっては、安全に配慮した通学環境の整備をよろしく願っています。

事務局：通学路はとても大切な事項だと考えています。スクールバスの利用も視野に入れながら、検討委員会等で協議を図って参ります。

C 氏：中学校の一校化により教員数が減ります。教員が減ることにより、教員が子どもに関わる時間も減ります。統合を推し進めることにより、不登校率が上がってしまうのではないのでしょうか。

事務局：貴重なご意見ありがとうございます。

（統合により人数が増えることで、人間関係の固定化を防いだり、子ども達の社会性やコミュニケーション能力を向上させたりできるなど、メリットの方が大きいと考えます。）

D 氏：統合検討委員会のメンバーについて、地域の方々だけではなく P T A 等の保護者の方々が多く入るようにして欲しいです。

事務局：P T A の役員の方々と連絡を密に図り、調整をしていきます。

A 氏：今回の統合計画は、日の出小学校は対象外ですか。

事務局：今回の統合計画は、2028 年度までの 5 か年のものであり、本計画においては、日の出小は対象外となります。

A 氏：人口の推計の欄には、令和 15 年のものもありますが、こちらはどのように算出したのでしょうか。

事務局：計画の策定にあたっては、令和 5 年度潮来市総合計画の策定や人口推計等により、本学校適正化計画の推計値を算定しております。

A 氏：それでは、2024 年から 2028 年の値は予想ということですね。それが分かるような表記にした方がいいと思います。

事務局：貴重なご意見ありがとうございます。

E 氏：統合に際しては、子どものことを第一に考えて欲しいです。様々な内容について具体的に話し合いを行って欲しいです。当初の予定では、今年度の 4 月に中学校 1 校化の統合を行う形であったと思います。決めたことをきちんと実行していただければ、住民の納得を得られるのではないのでしょうか。

事務局：私たちも子ども達を第一に考えて、今回の計画を策定しております。統合時期が変更になったのは、コロナ禍で説明会等を開催することができなかったためです。教育をとりまく環境の変化や少子化などを考慮して設計した、「第2期学校適正化計画」では検討委員会、準備委員会等を設置して、十分な協議を行ってまいります。

F 氏：統合によるデメリットもあると思います。慎重に進めるべきだと思います。

事務局：貴重なご意見ありがとうございます。

(統合には、メリット・デメリットが存在することも承知しております。統合により児童生徒数が増えることにより、人間関係の固定化を防いだり、子ども達の社会性やコミュニケーション能力を向上させたりできるなど、メリットの方が大きいと考えます。)

G 氏：通学方法がスクールバスになると月額1,000円かかると聞きました。校地は、行政側が決めたものなのに、利用者のみが負担するのは不公平だと感じます。

事務局：バス代については、「潮来市スクールバス等の運行に関する要綱」で決まっており、小中学生共通で月額1,000円となっています。ご意見については、今後、検討委員会等で協議を図って参ります。また、情報発信も速やかに行いたいと思います。

H 氏：統合に関わる事項について、周知が足りない部分があると思います。

事務局：貴重なご意見ありがとうございます。

(今回の計画の策定にあたっては、令和5年10～11月に小学3～中学3年生向けの児童生徒アンケート、小中学校保護者向けアンケート、教職員向けアンケートを実施しております。12月にはPTAとの懇談会も開催しております。また、令和6年2月1日から1ヶ月間、パブリックコメントを実施しております。今後は、様々な媒体を使って、多くの方々に情報が行きわたるよう努めてまいります。また、今回の各地区説明会の内容についても公表してまいります。)

A 氏：“適正化”という表現では、中身が分かりづらいと感じます。通知等に“統合”の文言を入れることはできませんか。

事務局：ご意見ありがとうございます。今後、皆様に分かる形で周知していきます。

I 氏：① 潮来小・津知小の統合を行った場合、学校から一番遠い子どもは何km離れているか。

② 一校化を行った場合、学校から一番遠い子どもは何km離れているか。

(適正化計画では、6 km 以内は徒歩もしくは自転車通学となっている。)

- ③ 少人数のメリットもあるが、将来、社会に出ることを考えると大人数の中で学ぶことが必要だと感じる。
- ④ 一校化を行った場合、現在の校舎は、全生徒を受け入れるだけの教室数があるのか。

事務局：① 潮来小・津知小の場合は、だいたい5 kmと思われます。

- ② 中学校一校化の統合については、校地が決まっていないので正確な距離は算出できません。通学方法については、スクールバスの利用も視野に入れて、安全に配慮した形で検討していきたいと思います。
- ③ 少人数のメリットもありますが、デメリットもあります。たくさんの児童生徒の中で学ぶことは子ども達に大きなメリットがあると思います。
- ④ 潮来一中、潮来二中は各学年4クラスずつが入る構成となっています。一部改修等は必要になりますが、受け入れは可能です。日の出中については、各学年3クラスずつの構成になるので、増築等の措置が必要になります。」

5. 閉会